令和６年度

海活動マニュアル
と
海の活動集

由良海水浴場：いかだ活動地

加茂水族館のクラゲ大水槽

山形県金峰少年自然の家

海活動マニュアルと海の活動集　もくじ

＜海活動マニュアル＞

◆「由良」エリアマップ　・・・１

◆海活動エリアまでの所要時間・各エリアでできる主な活動　・・・２

◆海関係提出書類一覧　・・・３

◆利用料金について　・・・４

◆各施設のご案内

由良コミュニティセンター　・・・５

海テラスゆら磯の風、温水シャワー　・・・６

由良小屋　・・・７

◆引率者の方へ　海の事故防止についてのお願い

海・その他の事故防止、緊急・災害時の避難と体制　・・・８−９

医療機関一覧、海の関係機関、津波災害避難地図　・・・１０−１１

＜海の活動集＞

活動一覧　・・・１２

海活動全般に関わる留意事項　・・・１３

いかだづくり、可否判断、禁止事項　・・・１４−１７

潮風テント泊　・・・１８−２１

潮風野外炊飯　・・・２２

磯あそび・カニ釣り　・・・２３

白山島散策、海岸散策、ビーチコーミング　・・・２４

磯釣り・堤防釣り、釣堀　・・・２５−２６

夜の生き物観察、海岸清掃ボランティア　・・・２７

サンドアート、ボンファイヤー、海水浴、潮風クラフト　・・・２８−３１

加茂水族館見学・クラゲ学習会、海ごみ学習会　・・・３２

加茂カッター乗船・漁業実習船乗船　・・・３３

加茂水産高校見学・加茂磯採集　・・・３４

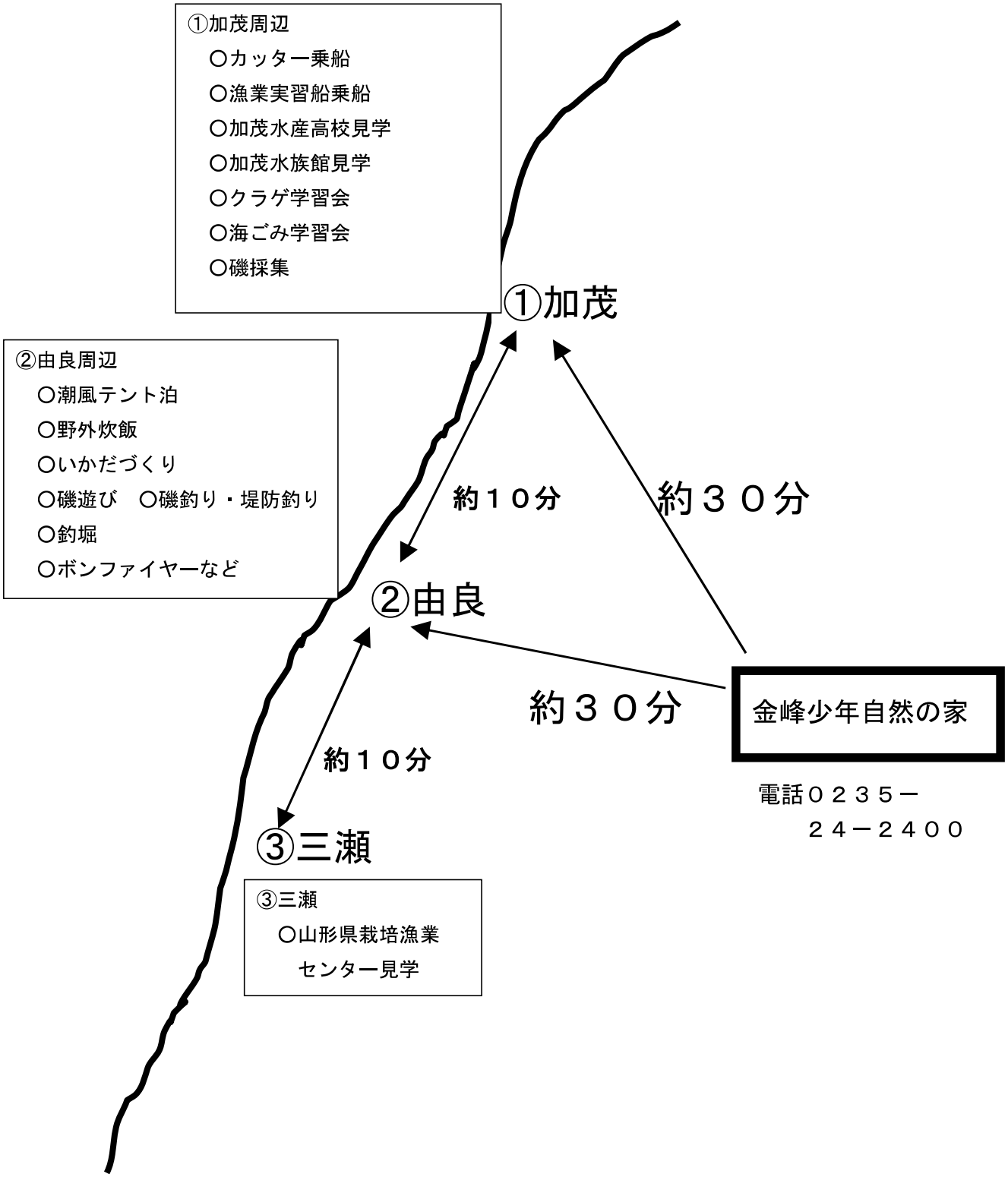
栽培漁業センター見学　・・・３５

◆各種申請書類　記入例　・・・３６−４２

金峰少年自然の家
「由良」エリアマップ

①	いかだ活動場所
②	潮風テント設営場所
③	由良小屋（プレハブ）
④	海テラスゆら磯の風（旧ﾌｨｯｼﾝｸﾞｾﾝﾀｰ）
⑤	温水シャワー（海テラスゆら内）
⑥	由良コミュニティセンター正面玄関（AED設置場所）
⑦	水シャワー・由良コミセン裏口（2F）
⑧	水場（潮風炊飯場所）
⑨	人工ビーチ
⑩	ゆら海洋釣堀
⑪	1次避難場所（八幡神社）
⑫	2次避難場所（旧由良小）
⑬	ホテル八乙女（AED設置場所）

自然の家から海活動エリアまでの所要時間　（バス移動）
各エリアでできる主な活動



海活動関係提出書類一覧

利用団体名：　0　鶴岡市立金峰小学校　　利用日：　●月●日　～　●月◆日

下記のいずれかの方法で、締切までに提出をお願いします。　※各書類は、最新版のダウンロードをお願いします。

提出書類名	提出が必要な団体	提出先	提出方法	提出締切・留意点	
由良コミュニティセンター 使用許可申請書 （3部複写式）	いかだ活動を行う団体 及び由良で海の活動を行う団体	金峰少年自然の家	郵送、持参	★なるべく早く　●月▲日　まで ・以下の日時は、会議室が使用できません。 火曜日　13:30-14:30 水曜、木曜日　9:30-11:30	複写用紙郵送
いかだレスキュー艇 依頼申請書 **※令和6年度版様式**	いかだ活動を行う団体		メール、FAX 郵送、持参	★28日前まで　●月▲日　まで ・活動終了時にお渡しする請求書の振込先に、一週間以内に入金をお願いします。	金峰少年自然の家 ホームページより ダウンロード https://kinbow.asoviva-p.jp/ 記入例も記載 金峰QRコード
いかだ活動計画表 **※令和6年度版様式**	いかだ活動を行う団体		メール、FAX 郵送、持参	★10日前まで　●月▼日　まで ・必要な人数の担当者を確保してください。	
「温水シャワー・海テラスゆら磯の風緊急避難施設」 使用申請書 **※令和6年度版様式**	由良で野外炊飯、潮風テント泊を行う団体 温水シャワーを利用する団体		メール、FAX 郵送、持参	★28日前まで　●月▲日　まで ・温水シャワーは、当日現金払いです。	
カッター乗船 漁業実習船乗船 加茂磯採集・加茂水産高校 見学申請書 **※令和6年度版様式**	加茂カッター船または漁業実習船の乗船体験を行う団体 加茂磯採集を行う団体 加茂水産高校見学を行う団体		メール、FAX 郵送、持参	★28日前まで　●月▲日　まで	
【学校・福祉施設等】 加茂水族館利用料金免除申請書 【幼稚園・保育園等】 加茂水族館利用申込書	加茂水族館を利用する団体	原本：加茂水族館 コピー：金峰少年自然の家	FAX、郵送	コピーの提出は ★28日前まで　●月▲日　まで ・支払いがある場合は、当日現金払いです。 ・当日利用しなくなった場合は、速やかに加茂水族館へ連絡してください。	加茂水族館 ホームページより 申請してください （注意事項をよく読んで 申請してください）
鶴岡市クリーン作戦 実施計画書	海岸清掃ボランティアを実施する団体	①市廃棄物対策課 ②自然の家	メール、FAX 郵送、持参	★5日前まで　●月□日　まで ・提出先①、②のどちらにも計画書を送付してください。	鶴岡市の ホームページより ダウンロード
鶴岡市クリーン作戦 実施報告書		①市廃棄物対策課 ②自然の家	メール、FAX 郵送、持参	★実施後5日以内　●月△日　まで ・提出先①、②のどちらにも報告書を送付してください。	
栽培漁業センター見学（三瀬）	栽培漁業センター見学を行う団体	栽培漁業センター（0235-73-3763）に、直接問い合わせをお願いします。			

〈Ｒ６　利用料金について〉

施設・活動名	対象	料金	支払い方法　※備考
由良コミュニティセンター	県内の保育園、幼稚園、認定こども園、小・中学校、高校 鶴岡市内の PTA・こども会	全額免除	納付書にて指定金融機関へ振込み。 ～使用申請の手順～ ①金峰少年自然の家へ申請書を提出 ②鶴岡市担当課で使用料算定 ③使用許可書を各団体へ送付 ※有料の団体には納付書を同封
	上記以外	有料	
由良駐車場 （由良温泉観光協会）	海開き中に駐車をする場合、料金がかかります。	乗用車　：1,000 円 ﾏｲｸﾛﾊﾞｽ：1,300 円 大型　　：2,500 円	駐車場入り口で現金払い
いかだづくり レスキュー艇料金 ※令和６年度より料金改定	○基本料金 2,000 円＋１艇あたり 4,000 円 例：出航艇数が 8 艇の場合 →2,000 円＋4,000×8 艇＝34,000 円 ※組み立て艇数ではなく、出航艇数でカウントする。		①現地で請求書を受け取る。 ②後日、指定口座に振り込む。 ③振込証を領収証とする。
温水シャワー （海テラスゆら磯の風内）	中学生以下	１名　200 円	温水シャワー受付（海テラス内）で現金払い
	大人（高校生以上）	１名　350 円	
緊急避難場所使用 （海テラスゆら磯の風内）	由良でテント泊や野外炊飯を実施するすべての団体	１名　100 円	自然の家へ支払い （当日現金、後日現金、振込）
ゆら海洋釣堀 ※4/20～10/20 ※9:00～17：00 ※土・日・祝日のみ ※GW、海水浴開設期間は休まず営業（4/30、5/1 は休み）	中学生以下（エサ付き）	１名　700 円	釣堀窓口で現金払い ※付属のエサは、オキアミとなります。 ※その他のエサは、別売で販売しております。左表の通り。
	高校生以上（エサ付き）	１名　1,300 円	
	見学のみ	１名　100 円	
	別売りエサ　オキアミ	300 円	
	青イソメ	350 円	
	氷	200 円	
磯釣り・堤防釣り （釣堀から貸し出し）	※仕掛けの一例（小アジ狙いの場合） 釣り竿１本、針、おもり、糸、はさみ、針外し、バケツ、えさ（疑似針） +コマセ	１セット　2,000 円（最高 20 セットまで） 団体が、由良海洋釣堀（７３－２６６６）に直接電話をして、貸し出し予約を行う。以下の内容を伝える。【日時、団体名、希望する釣り道具のセット数】（その時期釣れる魚に合わせて釣堀職員が仕掛け+餌を用意する。すぐに使える状態。）自然の家よりライフジャケットを貸し出します。	
潮風クラフト	貝殻クラフト	１名　40 円	自然の家へ支払い （当日現金、後日現金、振込）
	ルームボード	１名　90 円	
	フォトフレーム	１名　130 円	
サンドアート ボンファイヤー	サンドアート	無料	
	ボンファイヤー薪代	１名　80 円	
加茂水族館見学	幼児	無料	※その他の減免制度あり。 ※水族館に団体が直接支払う。 ※令和６年７月１日より、「一般」の料金が変更になる予定です。詳しくは水族館のホームページでご確認ください。
	小・中学生 （団体割引）	１名　500 円 （450 円）	
	一般 （団体割引）	１名　1,000 円 （900 円）	
クラゲ学習会 ／海ごみ学習会	料金……学校団体等は無料（別途入館料は必要です） ※水族館のホームページでご確認ください。		料金の詳細については団体が直接、水族館へ問い合わせる。
加茂水産高校	カッター乗船（定員 20 名）	１団体　1,000 円	加茂水産高校職員へ現金払い
	漁業実習船乗船（定員 10 名）	１団体　1,000 円	
	高校見学	無料	
	磯採集	無料	
栽培漁業センター見学		無料	

由良コミュニティセンターについて

① 料金の判断について

利用団体が申請書を**自然の家へ郵送で提出** → 自然の家は申請書を確認後に鶴岡市へ転送
→ 鶴岡市は有料／無料を判断 → 審査結果（使用許可書）が鶴岡市から団体へ郵送される

② 部屋の仕様・使い方・有料時の料金

部屋名	・仕様、使い方　※留意点	料金（有料団体のみ）	
		8:30～12:00	12:00～17:00
会議室（第１・第２）	・仕切りで部屋を分けることができます。 ・着替え場所に適しています。 **※火曜の午後、水・木曜の午前は使用不可**	800 円	900 円
和室研修室（第１・第２）	・仕切りで部屋を分けることができます。 ・たたみの部屋なので、着替え場所には不向きです。	800 円	900 円
大ホール	・大ホール用の裏口があります。**全ての活動終了後、裏口は必ず施錠**してください。 ・フローリングです。 ・仕切りはありません。必要に応じ、着替え用に会議室を借りてください。 ・水に弱いので、濡れたらすぐに拭いてください。	2, 800 円	4, 400 円

※夏季の冷房使用は、利用申請書に使用の旨を記載した上で、ご使用ください。事前申請無しでの使用はご遠慮ください。（利用料金減免措置により無料になる場合があります）

③ 利用上の留意点

・大ホールの裏口玄関には、足ふきタオルを敷いて出入りしてください。
・引率者は、利用場所の点検を終えた後、**正面玄関もしくは事務室内にある「使用日誌」にご記入**ください。

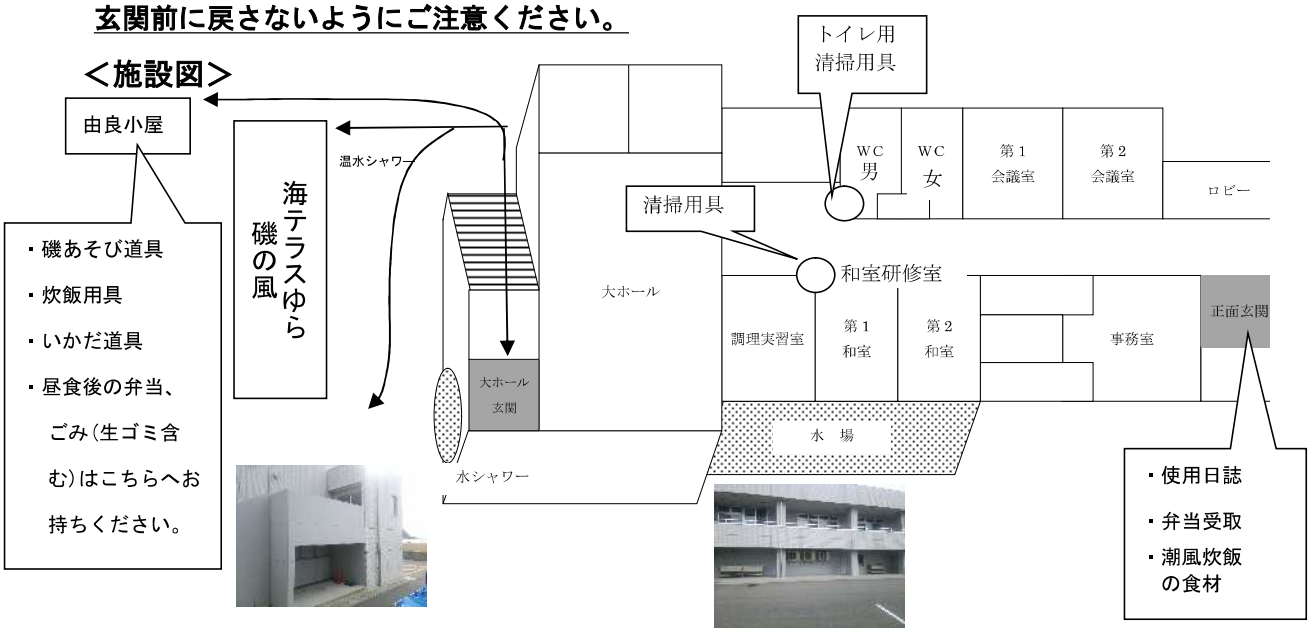
④ 掃除について

・利用した部屋、トイレ、玄関（正面・大ホール裏口）は、備え付けの清掃用具で掃除をしてください。
・大ホールの玄関の靴棚の中も、金峰の職員が当日に貸し出すミニホウキで掃除してください。

⑤ お弁当、食材について

・弁当と炊飯の食材は、**正面玄関に届きます。**自然の家の台車がありますのでご利用ください。
　弁当・・・１１：３０頃、　炊飯食材・・・１６：００頃
・弁当や食材を受け取った後の管理については、団体で責任を持って管理するようお願いします。
・弁当の空箱や段ボール、ゴミ等は、**由良小屋前にいる金峰の職員にお渡しください。**
玄関前に戻さないようにご注意ください。

＜施設図＞



由良小屋（プレハブ）

野外炊飯・潮風テント泊・いかだ活動の資材の保管場所として、自然の家で設置しているプレハブ小屋です。

小屋においてある物品				
・テント本体	・テントポール	・砂浜用ペグ	・シュラフ	・シュラフシーツ
・ボンファイヤー用薪		・灰捨て缶	・ガスコンロ	・たき火台
・炊飯用具	・ゴミ袋	・テーブル	・いかだ活動用具	・火ばさみ
・ライフジャケット	・網	・箱めがね	・移植べら	

【施設利用上の留意点】

1　使用したものは元の場所に返却をお願いします。引率者が必ず見届けてください。

2　17:00～翌朝 9:00 の時間帯は、鍵の管理をお願いします。
<u>わずかな時間でも小屋を空ける時は、必ず施錠をしてください。</u>

海テラス　ゆら磯の風について

由良自治会が運営する施設の一部を、自然の家を利用する団体の活動のために利用させて頂いています。営業時間(9:00-17:00)は一般のお客さんも利用します。公共のマナーを守るなど、施設への配慮をお願いいたします。

施設名	留意点　など
温水シャワー（１階） ・男子シャワー　４室 ・女子シャワー　６室	下記に記載してあります。必ずお読みください。
和室（２階） ・約３６畳	・仕切りはありません。 ・利用方法については、由良海活動 指導者研修会でお知らせします。
トイレ ・１階　男女各１室 ・２階　洋式１室	・使用後、備え付けの清掃用具で清掃をお願いします。

【施設利用上の留意点】

１　利用後は、使った部屋、使った用具、階段、トイレの清掃や整頓をしてください。
２　施設内にある、使用しない物品には、手をふれないようにご指導ください。
３　17:00～翌朝 9:00 の時間帯は、鍵の管理をお願いします。
　　わずかな時間でも施設を空ける時は、必ず施錠をしてください。

温水シャワーについて　（海テラスゆら磯の風　内）

【利用可能時間・人数】※利用料金については、料金表でご確認ください。（４ページ参照）

・１０時００分～１６時３０分
・シャワー室数　男子４室　　女子６室
（一度に入ることができる人数が限られているので、計画的に進めてください。）

【利用の仕方】

１　コミセンの水シャワーで、手足（身体）の砂を洗い落としてから入館する。
２　団体引率者が先導し、海テラス管理の職員に使用開始のあいさつをする。
３　当日の受付の際に、**団体引率者が現金で使用料を支払う。**（領収書を受け取る）

【利用上の注意点】

・いかだ中止以外の理由で、利用当日のキャンセルはできません。（人数変更は可）
　キャンセルの場合は、利用日前日の 15：00 までに自然の家へお電話ください。
・児童・生徒が使用する際は、必ず、団体引率者がついてシャワーの使用についての指導をしてください。
・シャンプー・リンス・ボディソープの使用はできません。
・団体引率者は、シャワー室外で、順番待ちの児童・生徒管理をお願いします。
・温水シャワー使用後、団体引率者は備え付けの清掃用具で清掃をお願いします。

引率者の方へ
海の事故防止についてのお願い

児童生徒・付き添い職員の事故については、引率代表者が責任をもって未然防止に努めてください。
特に、海での事故は直接生命にかかわりますので、十分な活動の管理をお願いします。また、由良地区は観光地のため、人の出入りも多いことから、昼夜問わず、防犯にも十分に注意してください。

1　海の事故防止について

（１）児童生徒の疲労度を考慮し、ゆとりをもって活動してください。

（２）いかだ活動では安全確保のため、以下の点をお願いいたします。
① 年２回開催される**「いかだ活動事前研修会」に必ずご参加ください。**
（参加できない場合は、活動プログラムに入れることはできません）
② 事前研修会で得た情報は、他の引率者にも事前に伝えてください。
③ 別紙「いかだ活動計画表」を記入し、１０日前までに提出してください。
④ 「いかだ活動計画表」の役割分担に従い、活動の支援を行ってください。

（３）天候や波の様子を十分に観察し、必ずライフジャケットを着用した上で、無理せず活動してください。

（４）砂浜にはガラスの破片や金物などの危険物が混じっていることがあります。また、岩場では岩がぐらついたり、濡れて滑りやすくなったりしていることがあります。**必ず、かかとが固定される履物を履いて活動**してください。

（５）例年６～７月に、カギノテクラゲが、海藻の多い場所で見られることがあります。刺されると激しい痛みと全身症状（吐き気・頭痛・けいれん等）を引き起こし、医療機関の受診が必要になります。
白山橋付近や人工ビーチにも藻場があります。危険ですので近づかないでください。症状がある時は、速やかに医療機関を受診してください。

（６）由良での「いかだづくり」・加茂での「カッター乗船」、「漁業実習船乗船」といった、沖に出る活動では、職員の指示に従い、危険のないように細心の注意を払ってください。

（７）由良の白山島にある白山神社の階段は、幅が狭く急傾斜になっています。上り下りには十分気をつけてください。リュック等を背負った状態で登ることは危険ですのでおやめください。肩掛けの水筒のみであれば可能です。

2　その他事故防止について

（１）夏の高温期には、熱中症に対する十分な対策をしてください。こまめな水分補給、帽子の着用などの指導をお願いします。日よけのテントを準備するなども有効です。
（２）海岸付近で弁当を広げると、飛んでいるトンビに襲われる可能性があります。怪我防止のため、人工ビーチ近くの東屋、コミセン裏またはコミセン屋内で食べるなどして、十分に気をつけてください。

緊急・災害時の避難と体制

1　けが・急病などの緊急対応

（１）医療機関の受診が必要な場合は、次ページ一覧を参照してください。（保険証持参）
（２）医療機関にかかる時には、必ず自然の家職員にも連絡してください。近くに職員がいない場合は、昼夜を問わず、自然の家（下記）にご連絡ください。
（３）防犯関係の連絡は、鶴岡警察署、豊浦駐在所、自然の家（下記）に昼夜を問わず連絡してください。

金峰少年自然の家連絡先　０２３５－２４－２４００　　０２３５－２４－２４０１

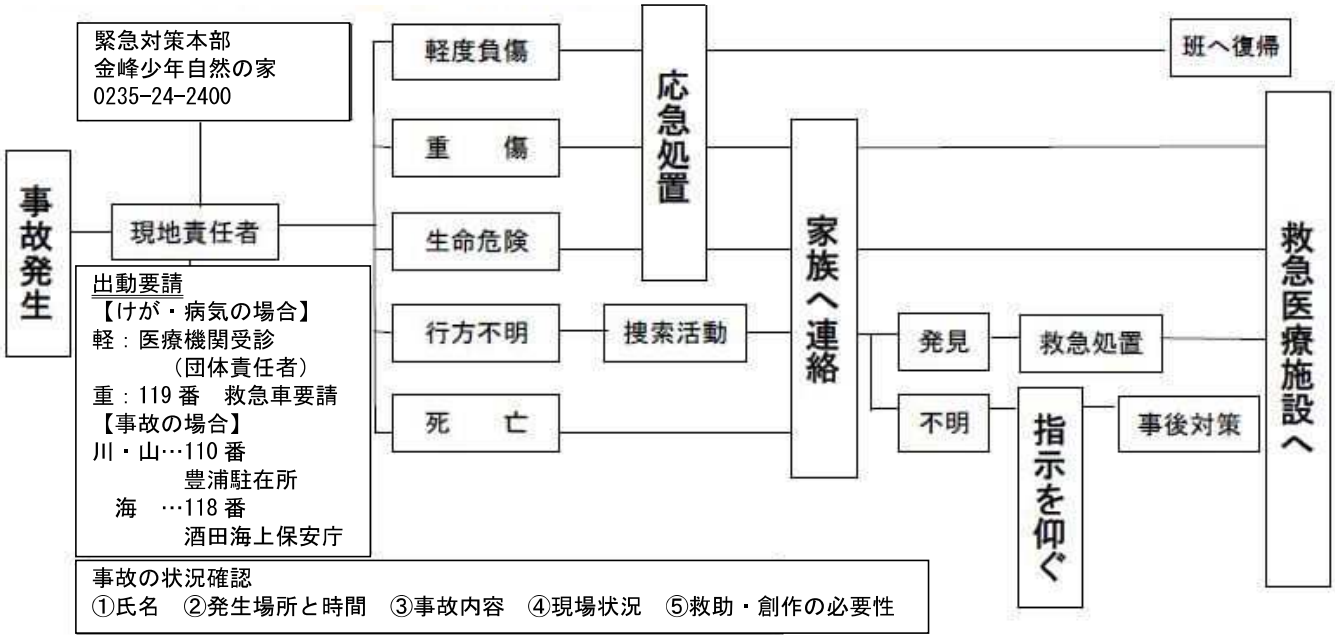
2　地震・津波などの災害対応

（１）地震発生時は、津波が起こる可能性もあります。情報の把握に努めるとともに、地区内防災放送等に従い、落ち着いて避難してください。
（２）避難場所は、各地区に数カ所あります。事前に位置を確認しておいてください。
（３）由良の避難場所については、P.１「エリアマップ」を参照の上、１次避難場所から２次避難所へと落ち着いて避難してください。

3　緊急事態時の体制

緊急時の事故処理体制

※事故の経過や復帰方法などは、指定管理者が窓口になり、現地責任者と連絡をとる



●救急車・火事　１１９　　●警察　１１０　　●海の事故　１１８
●鶴岡警察署　０２３５－２８－０１１０　　●豊浦駐在所（三瀬）　０２３５－７３－２０１９
●酒田海上保安部　０２３４－２３－４９９９

4　ＡＥＤの設置場所　　※P.１　エリアマップ参照

（１）由良コミセン　0235-73-2905　由良二丁目 14-53　※平日 8:30～17:00 のみ使用可
（２）ホテル八乙女　0235-73-3811　由良三丁目 16-31　※平日夜間・土日も、ｵﾙで使用していない場合使用可
フロントへお電話ください。

医療機関一覧

受診前に、医療機関に問い合わせをしてください。自然の家職員にもご連絡ください。

エリア	病院・医院名	診療科	電話番号 ０２３５	診療時間等	住所
鶴岡市	平日夜間・休日診療所 （初期の応急医療）	内科 小児科	２３－５６７８ （事前に電話が必要）	平日夜間（月、土のみ）：19:00～21:30 日・祝：9:00～12:00 13:30～17:00（12～3月のみ） 18:00～21:00 （連絡は、終了時刻30分前まで）	泉町５－３０ 総合保健福祉センター 「にこ♥ふる」
	宝田整形外科クリニック	整形外科	０１２０ ９１５－６０８ （２９－１０８８）	8:30～12:00　15:00～19:00 水曜・土曜は午前のみ 〔休診〕水曜・土曜・日曜の午後・祝	宝田１－９－８０
	斎藤胃腸クリニック	外科・胃腸科 胃腸内科	２４－７５５１	8:30～12:30　15:00～18:00 水曜は18:00まで 〔休診〕火曜午後・土・日・祝	本町２－２－３５
	今立小児科医院	小児科	２４－３３７７ （事前に電話が必要）	9:00～11:00　14:30～15:30 16:00～18:00 〔休診〕水の午後・第2,4土の午後、 日・祝	鳥居町２－３０
	木根渕医院	皮膚科	２２－０３０８	9:00～12:00　15:00～17:30 土曜午後は14:00～16:30 〔休診〕水・日・祝	本町１－６－３４
	よこやま皮膚科医院	皮膚科	２９－５２６０	9:00～12:30　15:00～18:00 土曜日9:00～12:30、15:00～16:00 〔休診〕木・日・祝	美咲町２５－１２
	鶴岡市立荘内病院 （重症の場合のみ）	救急	２６－５１１１		泉町４－２０
三川町	みかわキッズクリニック	小児科	３５－０６６６	平日9:00～12:00　15:00～19:00 土日9:00～12:00　13:30～17:00 〔休診〕火・水午前・祝	三川町猪子字大堰端 ３７９－７

海活動の関係機関

問い合わせる場合は、事前に自然の家職員に相談ください。

エリア	施設・活動	連絡先	電話番号・ＦＡＸ
由良	由良コミュニティセンター	由良自治会	（０２３５）７３－２９０５
	海テラスゆら磯の風 温水シャワー	海テラスゆら磯の風	（０２３５）６４－８３３１
	駐車場（海水浴期間中）	由良観光協会	（０２３５）７３－２２５０
	ゆら海洋釣堀	ゆら海洋釣堀	（０２３５）７３－２６６６
加茂	加茂水族館　見学 クラゲ学習会	加茂水族館	（０２３５）３３－３０３６
	加茂水産高等学校見学 ｶｯﾀｰ乗船・漁業実習船乗船 加茂磯採集	山形県立加茂水産高等学校	（０２３５）３３－３１１６ ＦＡＸ　３３－０４６５
三瀬	県栽培漁業センター見学	県栽培漁業センター	（０２３５）７３－３７６３

鶴岡市津波災害避難地図

津波ハザードマップ

由良地区

この地区で予測される津波は

▶最大津波高さ　12.7m

▶津波第一波到達時間　９分

我が家の避難メモ

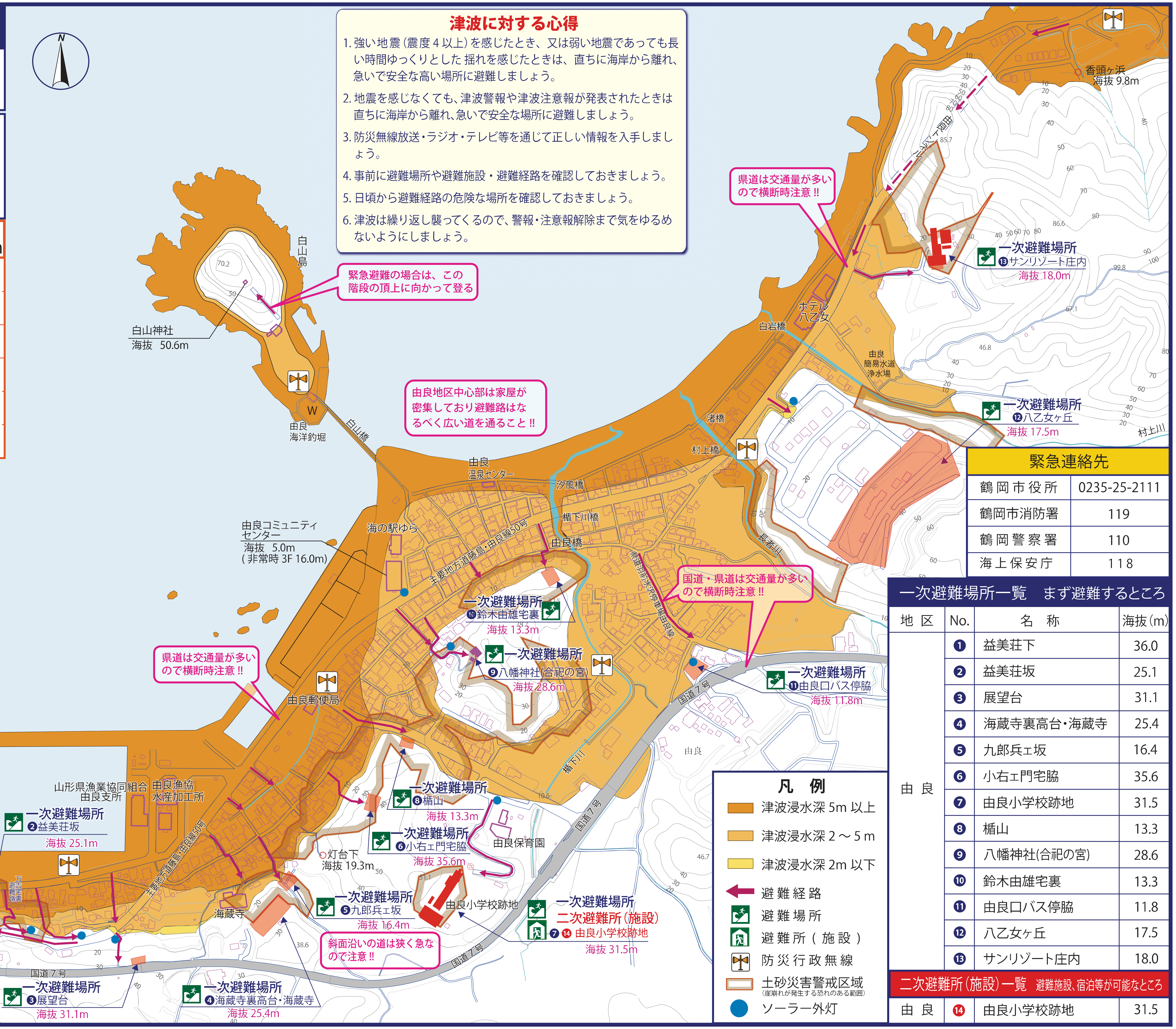
自宅海抜	m
避難場所	
避難経路	
緊急時の連絡先	

津波の史実

天保４年10月26日（1833年12月7日）に庄内沖で発生した地震により、この地区では津波が発生し、多数の家屋等の流出があったとされています。

津波に対する心得

1. 強い地震（震度４以上）を感じたとき、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、急いで安全な高い場所に避難しましょう。
2. 地震を感じなくても、津波警報や津波注意報が発表されたときは直ちに海岸から離れ、急いで安全な場所に避難しましょう。
3. 防災無線放送・ラジオ・テレビ等を通じて正しい情報を入手しましょう。
4. 事前に避難場所や避難施設・避難経路を確認しておきましょう。
5. 日頃から避難経路の危険な場所を確認しておきましょう。
6. 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報解除まで気をゆるめないようにしましょう。



凡例

- 津波浸水深 5m 以上
- 津波浸水深 2～5 m
- 津波浸水深 2m 以下
- 避難経路
- 避難場所
- 避難所（施設）
- 防災行政無線
- 土砂災害警戒区域（崖崩れが発生する恐れのある範囲）
- ソーラー外灯

緊急連絡先

鶴岡市役所	0235-25-2111
鶴岡市消防署	119
鶴岡警察署	110
海上保安庁	118

一次避難場所一覧　まず避難するところ

地区	No.	名称	海抜(m)
由良	❶	益美荘下	36.0
	❷	益美荘坂	25.1
	❸	展望台	31.1
	❹	海蔵寺裏高台・海蔵寺	25.4
	❺	九郎兵ェ坂	16.4
	❻	小右ェ門宅脇	35.6
	❼	由良小学校跡地	31.5
	❽	楯山	13.3
	❾	八幡神社(合祀の宮)	28.6
	❿	鈴木由雄宅裏	13.3
	⓫	由良口バス停脇	11.8
	⓬	八乙女ヶ丘	17.5
	⓭	サンリゾート庄内	18.0

二次避難所（施設）一覧　避難施設、宿泊等が可能なところ

地区	No.	名称	海抜(m)
由良	⓮	由良小学校跡地	31.5

⚠ **大きな揺れを感じたら、ただちに命を守る行動をとって下さい。**

この地図は山形県が平成28年3月に公表した「山形県津波浸水予想図」に基づいて作成しました。

S=1：3,500　0m　50m　100m　200m

活　動　一　覧

			活動のねらい・テーマ ◎効果が高い活動 ○効果が期待できる活動				職員の支援 【依頼】　職員・指導員による直接指導 【説明依頼】職員による説明のみ 【事前】　研修担当が団体引率者に事前に方法などを説明。活動は自主。				
活動場所	最初のページ	アクティビティ名	自然を楽しむ	自然に触れ、自然への興味や関心を高める	仲間との触れ合い、協調を図る	挑戦し、達成感を味わう	依頼	説明依頼	自主活動	引率者の事前研修すると良い○　必須●	外部講師等依頼
由良	14	いかだづくり（６月１日～９月５日。海開き期間中の土日祝日と、８月１日～８月１８日は不可）	◎	◎	◎	◎	○			●	
	17	潮風テント泊（６月１日～７月１１日、８月１９日～９月５日）		○	◎	○		○	○	○	
	21	潮風野外炊飯（６月１日～７月１１日、８月１９日～９月５日）			◎	○		○	○	○	
	22	磯遊び・カニ釣り	◎	○					○	○	
	23	白山島散策	◎	◎					○	○	
	23	海岸散策・ビーチコーミング	◎	◎					○	○	
	24	磯釣り・堤防釣り	◎	◎		○			○	○	
	25	釣堀 ※利用可能期間は４ページを参照	○	○		○			○	○	
	26	夜の生き物観察	◎	◎					○	○	
		海岸清掃ボランティア		◎	○	○			○	○	
	27	サンドアート	◎		◎				○	○	
	28	ボンファイヤー	◎		◎			事前	○	○	
	29	海水浴	◎	○					○	○	
	30	潮風クラフト		◎		○		○	○	○	
加茂	31	加茂水族館・クラゲ学習会・海ごみ学習会	◎	○					○		○
	32	加茂カッター乗船・漁業実習船乗船 加茂磯採集加茂水産高校見学 （土日不可）	○	◎					○		○
三瀬	34	栽培漁業センター見学 （平日午後のみ）		◎					○		○

海活動全般に関わる留意点を、13ページに記載しております。
活動を予定している団体は必ずお読みください。

海活動全般に関わる留意事項

○海活動中の履物について

・海活動中は、**かかとが固定される履物**を履いてください。
・砂浜の中の小石やガラス等でけがをしないよう、履物を履いたまま活動を行います。
・海水浴やいかだ航海などで海の中に入る時も、履物を履いたまま活動を行います。

【履物の例】

○適した履物

スイムシューズ

バックルのついたクロックス

外靴

×適さない履物

サンダル

バックルのついていないクロックス

○熱中症予防について

・必ず、**飲み物、帽子、汗拭きタオルは持参**してください。
・直射日光を避けるため、水着の上にＴシャツやラッシュガードを着ることをおすすめします。
・天候にもよりますが、テントやタープなどを持参し、設置することをおすすめします。由良の砂浜には、日陰がありません。自然の家ではタープやテントなどの貸し出しはしておりません。

仲間づくりアクティビィティ　いかだづくり

由良海岸でいかだを組み立て、大海原を航海するダイナミックなアクティビティです。
いかだの組み立て活動やいかだ航海を通して、仲間との一体感や協力することの大切さを味わうことができ、チームワークも高まる活動です。

1　ねらいとして考えられるもの

・いかだを組む、操作するなどのグループワークを通して、仲間との交流を深めるとともに、協力することの大切さを学ぶ。
・海の波、風等の自然と触れ合い、自然に対する感性を養う。

由良の海開き期間中（７月中旬～８月中旬）にいかだ活動を行う場合、駐車場料金が必要になる場合があるということと、砂浜が混雑する場合があるということを、あらかじめご承知置きください。詳しくは研修担当までお問い合わせください。

2　活動場所

・由良海水浴場（白山橋北側の砂浜）

3　いかだ研修会への参加と提出書類について（別ページ参照）

・**実施団体は、必ず「いかだ研修会」へ参加してください。**
（参加できない場合は、いかだ活動を活動プログラムに入れることはできません）
・**「いかだ活動計画表」「いかだレスキュー艇依頼申請書」を提出してください。**
（当日は、いかだ活動計画表に従って活動の支援をお願いします）

4　いかだ可能期間・活動の所要時間・料金の支払い

・実施期間　…　Ｒ６年６月１日（土）～９月５日（木）
ただし、由良の海開き期間中の土日祝日と、8月1日～8月18日の期間は実施不可。
・活動時間　…　午前中に開始し、昼過ぎに終了
・３時間～４時間程度。（準備～説明～組み立て～航海～片付け）
・レスキュー艇料金の支払いについては、活動終了後に請求書を受け取り、後日、レスキュー艇船長の口座に速やか（１週間以内）に振り込む。その際の振込証を領収証とする。

5　必要な道具

＜自然の家で準備するもの＞
いかだ資材一式
・長い竹３本×２セット　・短い竹４本×１セット　・穴あきの板４枚　・白いひも２４本
・ロープ１２本　・ブイ６個　・オール人数分　・ライフジャケット人数分

＜各自準備するもの＞
・水着（引率者も全員着用）　・かかとが固定される履物
・水着の上に着る服　・ぼうし　・タオル　・飲み物　・着替え
・小さなバッグ（タオル・飲み物・バスタオルを入れて）
・温水シャワーを使う場合は着替え（袋などに入れて）
※熱中症予防として、休憩用のテントが用意できると良いです。

6　いかだについて

１艇８～１０名が妥当な人数。
（原則、引率者は乗船しない）
４年生以下や人数が少ない場合は、作成時に大人のサポートが必要です。

安全確保のため、**団体引率者から活動補助をお願いします**。
別紙「いかだ活動計画表」に役割分担を記入し、提出してください。

７艇以上は、２つの班で協力して１艇を組み上げて、１班ごと航海を行います。
（例）８班を２班ずつ、４つのグループにする。
２班で協力しながら１艇のいかだを組む。合計で４艇。
航海は１班ごと行い、１艇を２航海（前半・後半）で使用。
４艇×２航海で８航海となります。

・１艇につき、最大定員１０名
・現有資材数　・・６艇

7　到着～いかだ作り～後片付けまでの流れ

1	到着	由良コミセンに入り、荷物を置く。水着に着替える。
2	集合	各自の小さなバッグは浜の階段に置き、由良小屋前に集合する。
3	説明	いかだに必要な資材について職員の説明を聞く。
4	運搬	班ごとに分担して、いかだの資材を砂浜まで運搬する。
5	組み立て	組み立て方について職員の説明を聞く。 →班ごとに組み立てる。（３段階程度に工程を区切りながら説明します）
6	航海準備	いかだが完成したら、漕ぎ方の説明と諸注意を聞く。 ライフジャケットを正しく着用する。 眼鏡や帽子は海上で落としても拾いに行くことができないため、とれないようにバンドをつけるなどする。または、外した状態でいかだに乗るようにする。
7	航海	レスキュー艇で沖まで引っ張ってもらい、岸に向かって漕ぐ。
8	引き上げ	いかだを引き上げ、浜に到着後、人員確認。
9	解体・運搬	いかだ解体（解体→数量の確認→由良小屋前まで運ぶ）
１０	水洗い ・片付け	小屋前で資材一式を水洗いし、返却場所に置く。 水シャワーで身体とライフジャケットを洗う。 ライフジャケットを小屋前に置き、着替え場所または温水シャワーに向かう。

8　活動計画例

〔計画例〕
9：15　由良到着、由良コミセンに移動
9：25　着がえ
9：45　所員紹介・説明
　　いかだづくり（由良小屋前）
11：30　航海準備
11：45　航海
12：30　航海終了、片付け
13：00　シャワー

〔計画にあたって〕

※　天候状況等により、活動時間が延びる場合があります。昼食やいかだ後の活動にゆとりをもって計画してください。

※　【引率者の人数】
いかだ４艇以下…引率者３名以上
いかだ５艇以上…引率者４名以上
温水シャワーを利用の場合は、どちらも５名以上。

※　**午後からは波が高くなることが多いので、午後からの実施はできません。**

9　いかだ活動の対象年齢について

・**小学４年生以上**
　子どもだけでいかだに乗ります（原則、大人は同乗しません）。沖の方へ航海に行くことができます。

・**小学３年生**
　大人と一緒にペアになり、いかだに乗ることができます。沖の方へ航海に行くこともできます。

・**未就学児～小学２年生まで**　※沖に出て航海をするいかだが無い場合、料金は基本料金（2,000円）のみとなります。
　引率者（大人の方）からいかだを組み立ててもらいます。
　大人と一緒にペアになり、いかだに乗ることができます。ただし、沖の方へ航海に行くことはできません。
　いかだに乗らない大人たちの手で浅瀬にいかだを出し、オールをこいで５ｍほど移動する体験は可能です。（ただし、当日の波や風の状況では実施できない場合もあります。）
　※子ども以上に大人の人数が必要になります。

１０　活動時間の設定について（昼食をとるタイミング）

（１）班の数と同数のいかだを作り、航海をする場合（１回転）

・すべての班の航海が終わり、片付け（水シャワー・着替えも含む）が終了してから昼食となります。食べ始める時刻が 13 時頃になる場合もあります。※航海の開始を早めるため、事前にいかだに乗る座席を決めておくことをおすすめします。

（２）班の数より少ない数のいかだを作り、航海をする場合（２回転）

・１航海あたりの時間を若干短くします。２回転目の班の人は、いかだが戻り次第、すぐに出航できるよう、砂浜で待機します。（このタイミングで昼食を食べに行くことはできません。）

・１回転目の班の人は、砂浜に戻り次第、昼食を食べに行くことも可能です。

ただし、コミセンホールに入る前に、水シャワーで足周りの汚れを落として水気をふき取るようにしてください。昼食を食べ終えた後に砂浜へ戻り、２回転目の班の人が使った後のいかだの片付けを始めます。片付けの際に体が汚れる可能性がありますので、着替えはせずに昼食をとるようにしてください。

・２回転目の班の人は、航海から戻り次第、すぐにコミセンに向かい、昼食をとることができます。昼食を食べ終えた後に、いかだの片付けやライフジャケット洗浄に加わることになります。

・昼食を途中にはさまず、全ての活動を終えてから昼食をとる場合、食べ始める時刻が 13 時 30 分～14 時になる場合もあります。

１１　安全管理上の注意点

（１）避難経路の確認

・引率者や参加者に、緊急時の避難場所と避難経路を説明します。

（２）熱中症予防

・必ず飲み物を持参してください。いかだ作りの最中にも水分補給の時間を設けます。

・水着の上にＴシャツ等を着る、帽子を着用する等、直射日光を避ける対策をしてください。

・砂浜に日陰はありません。当日の天候を考慮して、大型テントやタープを持参し、休憩場所を設置することもご検討ください。自然の家ではテントやタープの貸し出しはしておりません。

（３）水難事故等の予防

・いかだで航海する時は、ライフジャケットを着用します。また、熱中症予防として体を冷やすために海の中へ入る時もライジャケットを着用します。

・砂浜の中の小石やガラスのかけら等で怪我をしないよう、かかとが固定される履物等を履いたまま活動を行います。

・いかだ作りや片付け中は、手足などに砂がついても海に入って洗いません。

・いかだ活動中は、自然の家職員・引率者の許可なく海に入ってはいけません。

・いかだを海に出す時や海から引き上げる時は、波打ち際が特に危険となるため、自然の家職員の指導のもと、引率者は参加者と共にいかだを支え、素早く移動を行います。

１２　その他

・活動の途中に昼食をはさむ時など、砂浜などの活動地を離れる場合は、活動地の管理要員を配置することをおすすめします。（必ずしも所員が砂浜に在中できるとは限らないため）

いかだ活動の禁止事項について

禁止事項
・指示なく、海に近づく
・指導者の指示を無視する

約束を守れない場合は、活動を中止する場合があります。

いかだ活動　可否判断について

潮見の結果や気象情報をふまえ、いかだレスキュー艇船長の指導を受けて、自然の家職員が判断します。

中止や延期のめやす

１　強風・波浪・大雨・雷など、海活動にかかわる警報や注意報が出ており、いかだの航海やレスキュー艇の救助が困難な場合。または、そのような状況が予想される場合。

２　波の高さが１ｍ以上あり、いかだの航海やレスキュー艇による救助が困難な場合。
（波の高さが５０㎝の時は、波打ち際などの状況を見て判断。）

３　雷注意報が出ていた場合は、現地の雲の状況より判断する。雷雲等が見える場合や遠雷が聞こえた場合は、実施しない。

４　潮見の結果から、海岸や海上の様子がいかだ活動に適していない状況の場合。

可否判断のタイミング

＜実施前＞

１　当日の朝７：３０に、いかだレスキュー艇船長が潮見を実施する。
２　自然の家職員がレスキュー艇船長と連絡をとり、現場の状況をもとに判断。
３　自然の家職員が、判断の結果を団体の引率代表者に伝える。

＜実施中＞

・いかだを組み立て、海に出す前に、再度海の状況を見て航海の可否判断を行う。
・自然の家職員・いかだレスキュー艇船長・団体の引率代表者が現地で相談の上、決定する。

仲間づくりアクティビィティ　潮風テント泊

砂浜にテントを立てて生活することで、海辺キャンプならではの雰囲気を味わうことができます。
班の仲間と協力してテント設営することで、「仲間づくり」の場としても活用できます。
自然を感じるだけでなく、仲間との交流の要素も含んだアクティビティです。

1　ねらいとして考えられるもの

・グループワークを通して、仲間との交流を深め、協力することの大切さを学ぶ。
・自然と触れ合い、自然に親しむ。

2　活動場所

※１ページのエリアマップにある②の場所
・テント設営場所　・・・由良海水浴場（白山橋北側の砂浜）
・テント用具置き場・・・由良小屋
・荷物置き場　　・・・「海テラスゆら磯の風」２階和室

3　所要時間

・テントの準備から設営までの時間　・・・４０～６０分程度
・シュラフにシーツをセットする時間・・・２０分程度
・テント、シュラフ撤収に必要な時間・・・４０分程度

4　準備するもの

＜自然の家で準備するもの＞
・テント（本体、フライシート、グランドシート、ポール）一式（１０張）
・シュラフ　・シュラフシーツ　・砂浜用ペグ　・ハンマー　・ライフジャケット

5　活動の進め方

＜テント設営＞

1	説明 配置決め	手順や資材について職員の説明を聞く。 テントの配置を決める。
2	運搬	班ごとに、テントの資材を設営場所まで運搬する。 （テント一式１、砂浜用ペグ１２本、ハンマー１～２本）
3	組み立て	職員の説明を聞き、班ごとにテントを組み立てる。 ※組み立て方は、１９～２０ページ参照
4	テント内清掃	ほうきで砂を掃き出す。
5	シュラフセット	シュラフにシーツをセットする。 就寝時、テント内に各自のライフジャケットを置く。（地震・津波対策）

＜テント撤収＞

0	（説明）	（テント設営時に、自然の家の職員からかたづけの説明を聞く。）
1	かたづけ	班ごとに分担して、テント資材やシュラフを撤収する。 ※作業は、階段の上で行うと砂がとれやすい。 ※シーツは軽くたたんで、由良小屋のコンテナの中へ入れる。
2	運搬	由良小屋にテント資材を返却する。
3	砂浜点検	ペグ等が落ちていないか砂浜を確認する。

６　実施判断

特に荒天が予想される場合は、いかだレスキュー艇船長から助言を得た上で自然の家職員と団体代表者が協議し、団体代表者がテント設営の実施判断をする。

７　安全対策

・砂浜の中にガラスや漂流物など危険なものが混じっていることがあるので、かかとが固定される履物をはいて活動する。
・砂浜用ペグは砂に埋まりやすく紛失の恐れがあるので、砂にペグをさして作業する。
・観光地のため大勢の人が訪れるので、夜間の活動や外出の際は防犯に十分気をつける。
・「海テラスゆら磯の風」と「由良小屋」の施錠は忘れずに行う。

８　緊急避難施設

海テラスゆら磯の風　２階和室（使用量として 100 円／人を自然の家へ支払い）

９　由良小屋

由良小屋　　→使用については６ページ参照

テント設営のやり方

①道具の受け取り　※ 道具の貸し出しは、職員が行います。

〇ドーム型テント一式
- ・テント袋⇒　テント本体１つ　フライシート１枚
- ・ポール袋⇒　長いポール１本　短いポール　６本

※どのようにたたんでいたか覚えておくと、かたづけがスムーズです。

〇砂浜用ペグ２０本

※使う前にペグが２０本あるか、かくにんしましょう。

〇グランドシート１つ

②テントを立てる場所を決め、グランドシートをしきます。

③テント本体を広げます。

④ポールを組み立てます。

<u>ポールの真ん中から両はじに向かって</u>組み立てていきます。
ポールの中にはゴムが入っています。はじから組み立てたり、必要以上に強く引っぱったりすると、ゴムがのびてしまいます。

⑤長いポールに、短いポール（６本）を差し込みます。

おくまで差しこみます。

広げたテント本体に組み立てたポールを置きます。長いポールの両はじは、テント本体からはみだします。

⑥テント本体とポールをつなげます。

（１）初めに一か所だけ（テント本体中央の一番高い場所にあたる部分）にテント本体についているフックをポールにはめます。（カチッと音がするまで）

（２）次に２人１組になって、短いポールの先をテント本体のあなに差し込みます。あなは６か所あります。

拡大

ポールをテントの穴に入れる

次のページ

（３）テント本体の残りのフック
を全部ポールにはめます。
（カチッと音がするまで）

すべてのフックをはめると左の写真
のようにテントがたちあがります。

⑦テントを傾けて中のごみや砂を落とします。

⑧テント本体をペグ（６本）で地面に固定します。

ペグをさす場所は、かた側に３か所、全部で６か所あります

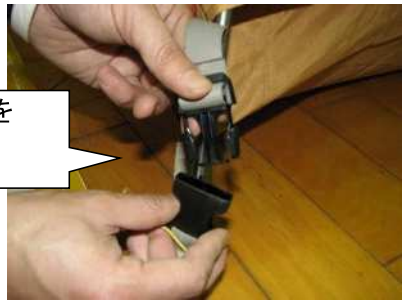
⑨本体にフライシートをかぶせます。

長いポールの両はじを、フライシートの
マジックテープでカバーをします

⑩フライシートとテント本体つなげ、ペグで地面に固定します。

テント本体とフライシートについているバックルをカチッとはめます。
ペグをうってフライシートを固定します。この時、テント本体とフライシートの間に、すき間ができるようにします。
出入り口として使わない方はペグで固定します。ポール袋をテント袋に入れます。

バックルを
はめます



出入口の反対側は
ペグで固定します

仲間づくりアクティビィティ　潮風野外炊飯

自然の中で仲間と協力しながら作る炊飯活動の楽しさは格別です。自主性・協力・創意工夫・心と心のふれあいなど様々な面から子どもたちの感性をゆさぶり、「学び」を引き出します

1　ねらいとして考えられるもの

グループや班での活動を通して仲間と協力することの大切さを学ぶ。

2　必要な道具

＜自然の家で準備する物＞

・炊飯用具一式（１セット４人分が基本。最大５人まで。）
・食事材料　・卓上カセットコンロ　・ガス
・液体洗剤　・風除け用板　・テーブル
・生ゴミ用バケツ　・三角コーナー、ネット　・たわし
・スポンジ

＜団体で準備するもの＞

・ふきん１班４枚以上（食器ふきん２枚、台ふきん２枚）

3　野外炊飯の進め方

１　食材搬入、数量確認（由良コミセン玄関）

・夕食食材は、業者が１６：００までに由良コミセンの玄関へ置く。
・翌朝の食材も同時に置かれる。利用団体が運び、数量を確認する。
・弁当や食材を受け取った後の管理については、団体で責任を持って管理するようお願いします。

２　テーブル・炊飯用具等の運搬（由良小屋前から由良コミセン外の水場前へ）

・ふきん、スポンジを持って由良小屋前へ集合する。
・班ごとに、由良小屋の中にあるテーブルや、炊飯に必要な道具を全て水場へ運ぶ。

３　オリエンテーション（水場前）

・炊飯用具の使い方や洗い方、食器点検について、自然の家の職員の説明を聞く。
・自然の家職員から水道の蛇口のハンドルを受け取る。水道口は３個あります。

４　炊飯活動（水場前）

・団体の自主活動で行う。
・引率者は、自然の家職員と後かたづけや留意点を打ち合わせる。
・夕食の場合、引率者は自然の家職員から由良小屋の鍵を受け取る。

５　後かたづけ、食器点検（水場前）

・後かたづけ完了後、自然の家職員が食器点検を行う。（夕食の場合は翌日朝食後）
・テーブル、炊飯用具、ゴミは全て由良小屋へ運ぶ。（夕食の場合は、食器点検前だが一旦由良小屋の中に運ぶ）
・テーブル等は元の場所へ戻す。ゴミ袋等は、由良小屋の床の空いている場所に置く。
・水場の清掃……残菜が残らないように点検。
・ゴミの分別……燃やすゴミ　→　茶色のゴミ袋
　　生ゴミ　　→　生ゴミバケツ

※夕食の場合、炊飯用具やゴミ袋を全て由良小屋へ運んだら、由良小屋に鍵をかける。

4　荒天時

荒天時、屋外で炊飯活動ができない場合は、「海テラスゆら磯の風」の２階和室で活動を行う。
・長机の上に卓上ガスコンロを置いて調理を行います。
・水をくむ場合は、海テラス２階を使います。
・食材くずの処理、清掃や整頓を徹底してください。

自然交流アクティビィティ	磯あそび カニ釣り

ヤドカリ、カニや小魚など磯の小動物に触れることができる活動です。
箱めがねなどを用いることで、ふだん見る機会の少ない海の中の様子も観察できます。

1　ねらいとして考えられるもの

海の生き物への興味や関心を高める。自然に触れ、自然に親しむ。

2　活動場所　※マップ参照

人工ビーチ、白山島周辺の自然磯、ホテル八乙女前

3　活動時間

４０分～

4　必要な道具や服装

【貸し出しできるもの】

・バケツ　・ドライバー　・箱めがね　・ライフジャケット　・移植ベラ　・たも　・ザル

【団体の準備物】

・ぬれてもよい服装（水着＋Ｔシャツが最適）
・シューズ（バックベルト付タイプのサンダル、またはマリンシューズ）
・カニ釣り用具（割りばし、たこ糸、スルメ、おもり）
・その他、磯あそびに必要な道具（網など）

5　活動の進め方

①水着に着替え、ライフジャケットを着る。
②シューズをはいて、活動場所へ移動。
③活動範囲、活動の仕方、危険生物、注意点について説明を聞く。（自然の家職員もしくは引率者）
④磯あそびやカニ釣りの活動をする。

6　留意事項

・海藻がたくさん生えている場所には、「カギノテクラゲ」がいる場合があるので近づかない。
・藻がついたコンクリートは、すべりやすくなっているので注意が必要。
・グループやペアを組むなど、子ども同士の事故防止意識をもたせてください。
・採集した生き物は、環境保護のためリリースをお願いしています。

カニ釣りにチャレンジしてみよう！

①割りばしに、たこ糸を結ぶ。
②たこ糸に、スルメとおもりをつける。
③カニがいそうな所にスルメを近づける。
　または、カニを見つけてスルメを近づける。
④カニがスルメをつかんだら、ゆっくり上げる。
⑤水面近くまで引き上げる。
（水面から出るとにげてしまう）
⑥手でつかむか、網ですくう。
⑦バケツなどに入れる。

人工ビーチの様子

自然交流アクティビィティ	白山島散策

白山島は、由良地域のシンボルとして地元の人に愛されてきた島です。天気が良い時は遠く鳥海山や庄内浜の海岸線、また、日本海の様子を眺めることができます。

1　ねらいとして考えられるもの

鳥海山、庄内浜の景色に触れる。

2　活動場所

白山島、白山神社階段

3　所要時間

４０分～自由に設定

4　準備物

・ライフジャケット（自然の家で貸し出します）
・バックル付きのサンダルかシューズ

5　留意事項

・島に沿って設置されている遊歩道の一部が、当面の間、通行止めになっています。
・白山神社の階段は狭く急なため、団体人数を考慮して実施してください。また、リュック等を背負った状態で登ることは危険ですのでおやめください。肩掛けの水筒のみであれば可能です。
・事前に下見をされることをおすすめします。

自然交流アクティビィティ	海岸散策 ビーチコーミング

由良海水浴場周辺を散策する活動です。活動場所は、砂浜、磯場、港周辺など目的に応じて選択できます。
ビーチコーミングは、漂流物を探しながら海岸散策をする活動です。
「貝殻クラフト」とのかかわりをもたせて実施するのもおすすめです。

1　ねらいとして考えられるもの

庄内浜の景色や地磯の景色に触れる。

2　活動場所

由良海水浴場、人工ビーチ、由良港周辺

3　所要時間

４０分～自由に設定

4　準備物

・ライフジャケット（自然の家で貸し出します）
・バックル付きのサンダルかシューズ
・飲み物　　・漂流物を入れる袋　　・ザル

5　留意事項

・多少の荒れ模様でも実施可能です。荒天プロとしてもご活用ください。
・由良港周辺の散策については、漁業・港湾関係者の作業の妨げにならないようご注意ください。

自然交流アクティビィティ　磯釣り・堤防釣り

日本海に面した庄内浜では、四季折々様々な魚が釣れます。海に釣り糸を垂れ、気長に魚が釣れるまでを楽しみましょう。魚が釣れない時もありますが、それもまた自然です。

1　ねらいとして考えられるもの

磯釣りを通して自然に触れ、自然に親しむ。海の生き物への興味や関心を高める。

2　活動場所

①　白山島北側磯場
- 自然の地磯で雰囲気もよく、魚影も濃い。多様な魚が釣れる
- 足場が悪く、滑りやすいので、注意が必要。
- 岩に針が引っかかりやすく、竿の操作が難しい。　・島にトイレがある。

②　人工ビーチ南側
- 小さな港の一角。足場が良く、釣りやすい。
- 回遊魚は少ないが、沈み石付近に根魚がいる。

③　由良本港堤防

白山島釣り場

人工ビーチ南側

3　所要時間

６０分程度～（団体で設定）

4　準備物

【自然の家で貸し出す物】
- バケツ　・ライフジャケット

【団体で準備する物】
- 釣りエサ　・釣り道具（自前で用意する場合）　・軍手　・飲み物　・タオル　・帽子など

【釣堀で貸し出す物（有料／1 セット　2000 円）】
- 釣り竿１本　・おもり、はさみ、糸、針、針外し　・ひもつきバケツ　・釣りエサ
- バケツ　・コマセ

※団体が、由良海洋釣堀（73-2666）へ直接電話をして、貸出予約を行う。【日時、団体名、希望する釣り道具のセット数】を伝えると、その時期に釣れる魚に合わせて釣堀職員が仕掛けと餌を用意する。すぐに使える状態で提供される。最大貸出セット数…20 セット

5　釣れる魚

【主な釣れる魚】　参照：加茂水族館 HP

クジメ、アイナメ

キュウセン

フグ

シノコダイ（クロダイの稚魚）

6　釣りエサ

- オキアミ（エビ：小さい物がよい）　・イソメ

※各団体が、事前に釣具店等で購入してください。
※由良で購入可能な場所・・・海洋釣堀（７３―２６６６）

7　留意事項

- 人数や参加者の様子、支援体制などを考慮し、場所の下見を行ってください。
- 釣った魚は、可能な限りリリースしてください
  自然の家への持ち込みはできません。退所日などそのまま帰る場合は持ち帰りもできます。
- 自然の家から借りた道具は、水洗いして返却ください。

自然交流アクティビィティ　釣堀

海洋釣り堀では、四季折々の様々な魚を釣ることができます。釣り竿やエサは、料金に含まれますので、装具の準備も必要ありません。
また、多少の荒天時も釣りが可能なので、荒天時の活動としても活用できます。

1　ねらいとして考えられるもの

魚釣りの楽しさを味わう。海の生き物への興味や関心を高める。

2　活動場所

ゆら海洋釣堀（白山島内　７３－２６６６）※トイレ完備

3　活動可能期間

※料金表で確認ください。（４ページ参照）

4　所要時間

６０分程度～（団体で設定）

5　料金

※料金表で確認ください。（４ページ参照）

6　釣りの進め方

①釣堀に行き、受付に人数を伝え、料金を支払う。
②釣り竿とエサ（オキアミ）を受け取る。（その他のエサは、別料金で購入できます。）
～　釣りをする。～
※糸が切れてしまっても、交換してくれます。釣堀係員にお問い合わせください。
③魚を袋に入れる。
④退館

7　釣った魚について

・釣った魚は、自然の家への持ち込みはできません。
　退所日などそのまま帰る場合のみ持ち帰りができます。

【氷保存して持ち帰る】
・釣りが終わったら、魚をチャック付きのビニール袋等に入れる。
・団体でクーラーボックスを用意し、まとめて氷保存してください。

8　準備物

【釣堀にあるもの】
・釣りざお（仕掛け付き）　　・釣りエサ（オキアミ１人１袋）
【自然の家で貸し出す物】
・ライフジャケット
【団体で準備する物】
・チャック付きビニール袋　・マジックペン　・クーラーボックス

9　留意事項

釣りの中止、延期、人数の変更がある場合、釣堀と自然の家の両方に連絡してください。
前日までにはご連絡をお願いします。

自然交流アクティビィティ　夜の生き物観察

夜の海では、夜行性のカニや魚など、昼間には見ることができなかった生き物を観察することができます。懐中電灯で水の中を照らして生き物探しをしてみましょう。
潮風テント泊の団体のみ実施できる活動です。

1　ねらいとして考えられるもの

夜の海の雰囲気を味わうと共に、夜行性の海の生き物にふれる。

2　活動場所

人工ビーチの手前側のみで活動する。（飛び石を渡ったり、奥の方に行ったりしない）

3　所要時間

３０分～自由に設定

☆「きもだめし」ではなく、夜の海辺の雰囲気を感じたり、自然の奥深さや神秘性を感じたりできるような運営をおすすめします。

4　準備物

【自然の家で準備するもの】・ライフジャケット（必ず着用）
【団体で準備するもの】　・バックル付きのサンダルかズック　・懐中電灯　・軍手（必要な場合）

5　留意事項

・活動範囲はあまり広くとらず、目の届く範囲で安全に実施してください。
・捕まえた生き物は、リリースしてください。

自然交流アクティビィティ　海岸清掃ボランティア

海岸清掃を通して、自然環境などについて考える活動です

1　ねらいとして考えられるもの

海岸のゴミ拾い活動などを通して、海岸線の自然環境について考える。

2　活動場所

由良海水浴場、人工ビーチ

3　所要時間

３０分～自由に設定

4　申込方法・提出物

事前に「実施計画書」、事後に「実施報告書」の作成と提出が必要です。（３ページを参照）
どちらも鶴岡市のホームページからダウンロードで入手できます。

5　準備物

【自然の家で準備するもの】　・ライフジャケット
【団体で準備するもの】　・バックル付きのサンダルかズック　・軍手　・ゴミ袋
※ゴミ袋は、利用団体で、鶴岡市廃棄物対策課へ事前申請し、取り寄せてください。

6　ゴミの処理やその他留意事項

・収集したゴミは鶴岡市で処分いたします。（鶴岡市に実施計画書を提出した場合のみ）
・海開き前の時期は、機械を入れて大規模な海岸清掃が入ります。実施日等事前にご相談ください。

自然交流アクティビィティ　サンドアート

由良海水浴場で砂を使った造形を楽しむ活動です。活動の進め方も団体にあわせて工夫して取り組むことができます。

1　ねらいとして考えられるもの

造形活動を通して、仲間同士のコミュニケーションを図り、交流を深める。

2　活動場所

由良海水浴場

3　所要時間

団体で設定

4　準備物

【自然の家で貸し出し可能な物】

・バケツ　　・移植ベラ
・ライフジャケット

【団体で準備する物】

・バックル付きサンダルかシューズ　・飲み物　・タオル　・その他造形活動に必要な道具

5　活動の進め方（例）

① グループを作る。
② 全体のサンドアートのテーマを決める、または、グループで考えたテーマで作品を作る。
③ 砂浜に、作る作品の大きさがわかるように円を描く。
④ バケツに海水をくむ。
⑤ 円の中に砂を盛り、海水をかけたり、海水と混ぜた砂を盛ったりして、作りたいものを造形していく。
⑥ 移植ベラ、流木、手などを使って細かい部分を仕上げる。
⑦ 作品ができあがったら、他のグループの作品を鑑賞する。

6　留意事項

・作る場所が波打ち際に近すぎると、波の影響を受けてしまいます。
　反対に遠すぎると水をくむのが大変ですので、活動場所を考慮してください。
・砂浜には、危険物が交じっている場合があります。必ずサンダル等を着用してください。
・完成した作品を鑑賞後は、砂浜を元通りに戻してください。
・熱中症に十分注意し、こまめな水分補給をしてください。

自然交流アクティビィティ　ボンファイヤー

ボンファイヤーは、大きな火床は組まずに、小さなたき火を囲みながら静かに語り合う活動です。そこでは、儀式も出し物も必要としません。波の音を聞きながら、今日１日をふり返り、静かな夜を過ごしてみませんか。

1　ねらいとして考えられるもの

グループ・班ごとの交流を深める。
１日の活動のふりかえりや次の日の活動に向けて話し合う。（話し合いの場として実施する）

2　活動場所

由良海水浴場　白山橋右側海岸　※テントサイトからは十分離れた場所
砂の上で、直火で火をたくことができます。

3　所要時間

３０～６０分（団体で調整してください）

4　準備物

【自然の家で準備する物】
・薪（１班１束）　・灰捨て缶（蓋つき）　・火ばさみ　・ブロック（重し用）　・ふるい

【団体で準備する物】
・たきつけ道具（マッチ、新聞紙等）　※活動の内容によって必要なものは団体で準備。

【服装】
・夜の浜辺に適した服装（夏でも長そで・長ズボンが好ましい）　・帽子　・軍手
※夜の活動なので、季節によっては防寒、虫除け対策も必要です。

5　留意事項

・ボンファイヤーの後始末（消火確認・灰の始末）は、引率者が確実に見届けまで行ってください。
・灰になるまで燃やし尽くしてから、灰捨て缶に入れてください。その後、ふたを閉め、重し用のブロックを蓋の上に置いてください。灰捨て缶は、一晩、由良小屋の脇（外）で保管してください。翌日、自然の家職員が片付けます。
・地域住民の迷惑にならないように、活動は静かに行ってください。
・２１時までには活動を終了してください。

自然交流アクティビィティ　海水浴

由良海水浴場は、毎年たくさんの観光客が訪れる人気の海水浴場です。白山島の美しさと日本海の雄大さを実感できる活動です。

1　ねらいとして考えられるもの

海水浴を通して自然に触れ、自然に親しむ。海の生き物への興味や関心を高める。

2　活動場所

由良海水浴場

3　所要時間

団体で設定

4　準備物

【自然の家で貸し出し可能な物】

・ライフジャケット

【団体で準備する物】

・バックル付きサンダルかシューズ　・飲み物　・タオル　・浮き輪など必要なもの

5　活動の進め方

①水着に着替えて、海水浴場に集合する。
②準備運動をし、引率者の監視の下、遊泳する。
　→１０～１５分間に一度休憩時間を入れ、人数確認や健康観察をする。
③遊泳終了時には、全員そろったことを確認する。
④シャワー等を行う。

7　留意事項

・引率者の監視の下、風や波の状況を正しくとらえながら、安全に活動する。
・個々の泳力や健康状態を十分に把握し、事故防止に努める。
・監視は複数体制で行う。
・参加者同士、事故防止意識を高めるような事前指導をする。
・こまめに水分をとるなど、熱中症に気をつける。

〔由良海水浴場〕

自然交流アクティビィティ　潮風クラフト

砂浜で拾ってきた貝がらや流木を生かして、自分の好きなものを作る活動です。
海活動の思い出としても人気があります。

1　ねらいとして考えられるもの

貝がらや流木など、海の材料を生かした物づくりを楽しむ。

2　活動場所

・貝がら、流木拾い　→　由良海水浴場
・製作活動　→　由良コミセン

3　所要時間

・貝がら、流木拾い　→　４０分～
・水洗い、乾燥　→　３０分～
・製作活動　→　６０分～

4　料金　（１人あたり）

・貝殻クラフト　４０円
・ルームボード　９０円
・メモリアルフォトフレーム　１３０円
・ボンド類各種（ホットボンド、木工ボンド、多用途ボンド）　各１０円
⇒上記以外でも、持ち込み材料と拾った物を組み合わせた工作も可能です。

5　準備物

【自然の家が準備するもの】
・グルーガン　・動眼　・ペン　・ザル（拾った物を洗い、水を切るため）

【団体で用意する物】
・拾った物を入れる袋　・新聞紙　・軍手　・作品を入れる袋や箱
・拾った物の水気を切るタオル等（キッチンペーパーをおすすめします）

6　活動の進め方

【貝がら、流木拾い】
①由良海水浴場へ集合
②貝がらや流木を拾う
③砂や汚れを洗い、水気を切り、乾かす
【製作活動】
①動眼を１人２個配る
②材料を見て、作りたいものを決める
③ペンで材料に色をぬる
④ホットボンドで材料を接着する

貝殻クラフト作品例

7　留意事項

・材料を拾う際は、サンダルや軍手を着用し、けがのないようにする。
・こまめに水分をとるなど、熱中症に気をつける。

自然交流アクティビィティ	加茂水族館見学 クラゲ学習会 海ごみ学習会

加茂水族館は、クラゲ展示数世界一で知られる水族館です。また、庄内に生息する海・川の生き物についても分かりやすく展示しています。
クラゲ学習会ではクラゲの生態について、海ごみ学習会では海ごみについて詳しく学ぶことができます。学習支援員「クラゲッターズ」の皆さんが、顕微鏡や実物を使って楽しく教えてくれるので人気のあるプログラムです。

1　ねらいとして考えられるもの

・水族館内の展示やクラゲ学習会・海ごみ学習会等を通して自然に触れ、自然に親しむ。
・海や川の生き物やその生息環境への興味や関心を高める。

2　活動場所

加茂水族館

3　申込方法

【水族館見学】
・直接、水族館にＦＡＸかメールでお問い合わせの上、申請手続きをおこなってください。
・申込書のコピーを自然の家へＦＡＸで提出してください。

【クラゲ学習会】【海ごみ学習会】（講師依頼）
・加茂水族館ホームページの申込専用フォームから、**利用団体が直接**申し込みください。
→必ず、実施日の１か月前まで
・申し込み内容を「活動プログラム」に記入して自然の家にもお知らせください。
・申込書のコピーも自然の家へ提出してください。

4　所要時間と人数および費用

【水族館見学】
・開館時間…9：00～17：00　年中無休
・入館料……割引や減免制度あり（加茂水族館ホームページ等でご確認ください）

【クラゲ学習会】【海ごみ学習会】（講師依頼）
・開催時間…9:30～15:30 の間で開始時間を設定できます。
所要時間は 30 分または約 60 分（入退出込み）
・可能人数…1 回につき 10 名～40 名程度
（10 名以上からの受付となりますが、学校行事の場合は少人数でも可）
・料金……学校団体等は無料（別途入館料は必要）　※加茂水族館のホームページでご確認ください。
・準備物……特になし（事前に水族館へご確認ください）

5　活動の進め方

【加茂水族館見学】
窓口で受付をし、引率者の指示のもと自由に見学する。

【クラゲ学習会】【海ごみ学習会】（講師依頼）
①窓口で受付をし、学習会希望の旨を伝える。
②講師の先生の指導のもと、学習会を行う。
・事前に水族館担当職員と学習のねらい、内容等を相談しておいてください。
・館内の見学と学習会を組み合わせるプログラムも組めます。

6　留意事項

・他の来館者の迷惑にならないよう、必ず参加者に対して事前にマナー指導を行ってください。
・現在、加茂水族館のレクチャールームで昼食を取ることはできません。

仲間づくりアクティビティ 自然交流アクティビィティ	加茂カッター乗船 漁業実習船乗船 加茂磯採集 加茂水産高校見学

県立加茂水産高等学校では、海洋活動に関する様々な学習を行うことができます。普段できない、触れることのできない学習活動を計画してみましょう。

1　ねらいとして考えられるもの

・加茂水産高等学校および周辺エリアの活動を通して
　→自然に触れ、自然に親しむ。海の生き物への興味や関心を高める。
　→仲間同士での協力性を養う。
・体験活動を通して、水産高校の学習内容を理解する。

2　活動場所

【加茂カッター乗船】・【漁業実習船乗船】　加茂港出港
【加茂磯採集】　加茂レインボービーチ
【加茂水産高等学校見学】　加茂水産高等学校

【ご利用の流れ】
①水産高校の活動を希望する団体から、自然の家へ連絡が入る。（日時・人数などを聞き取る）
②水産高校の実習担当の先生と自然の家が連絡を取り合い、当日の活動実施の可不可について検討する。
③自然の家は、検討結果について団体へお知らせする。（可能となった場合、各種申請書類の作成と、自然の家への提出を依頼する）
④自然の家は、届いた書類を加茂水産高校へ送付する。
⑤必要に応じて、水産高校の実習担当の先生と団体の担当者が電話などで打ち合わせを行う。

3　所要時間と人数・準備するもの

加茂カッター乗船（５～１０月限定。土日は不可）

【内容】カッター船に乗り、加茂港から出港して沖まで連れて行ってもらい、普段見ることのできない水平線や、陸の様子などを見ることができる、ダイナミックなアクティビティです。
※　こぐ活動ではありません。

【時間】１航海１～２時間程度（応相談）　【料金】１団体あたり燃料代１０００円（当日現金支払い）
※　実施可能時間　９：００～１２：００、１３：３０～１５：００
※　平日でも、担当者の授業の関係で、できない場合もあります。
※　雨天時・荒天時は、「学校見学」に変更可能です。（事前要相談）

【人数】１艇定員２０名（１団体あたり４０名まで対応可能です）※うち２名は大人が乗船すること。
※　２０名以下の団体の場合、１航海で終了します。
※　２１名以上４０名以下の場合、２つの実施方法から選べます。
　①２グループに分かれて２艇のカッター船に分かれて乗船し、一斉に乗船体験を行う。
　②２グループに分かれてカッター乗船と水産高校見学とのローテーションで行う。

【自然の家で準備するもの】ライフジャケット

【個人で準備するもの】外海に出ても寒くない服装、水筒、帽子
　バックベルト付きサンダル、または、マリンシューズ、または、運動靴

漁業実習船乗船（５～１０月限定。土日は不可）

【内容】漁業実習船に乗り、加茂港から出港して沖まで連れて行ってもらい、魚群探知機や魚を捕る仕組みについて、見て学ぶことができます。

【時間】１航海１～２時間程度（応相談）　【料金】１団体あたり燃料代１０００円（当日現金支払い）
※　実施可能時間　９：００～１２：００、１３：３０～１５：００
※　平日でも、担当者の授業の関係でできない場合もあります。
※　雨天時・荒天時は、「学校見学」に変更可能です。（事前要相談）

【人数】１艇定員１０名　※うち１名は大人が乗船すること。（１０名ずつの乗船を計４回転するやり方も可能です。ただし、１航海あたりの時間は短くなります。１団体あたり４０名まで対応可能です。ご相談ください。）

【自然の家で準備するもの】・【個人で準備するもの】は、加茂カッター乗船と同様です。

加茂磯採集（土日は不可）

【時間】１時間程度　※実施可能時間は、９：００～１２：００、１３：３０～１５：００
※　平日でも、担当者の授業の関係で、できない場合あり。
※　雨天時・荒天時は、「学校見学」に変更可。（事前要相談）

【人数】４０名程度

【個人で準備するもの】水にぬれてもよい服装
バックベルト付きサンダル、または、マリンシューズ、または、長靴

【自然の家で準備するもの】ライフジャケット、たも、ザル、バケツ

加茂水産高等学校見学（土日は不可）

【時間】１時間程度　　【人数】何人でも可。　※授業中の場合もあるので、静かに見学する。

【個人で準備するもの】内履き

4　活動の進め方

【加茂カッター乗船】・【漁業実習船乗船】

① 実施日の前日の夕方、もしくは当日実施前（８：５０か１２：５０）に、水産高校の実習担当教諭が自然の家に電話で実施可否判断の内容を伝える。その内容を自然の家から団体の担当者へ電話で伝える。
② 当日、団体は水産高校の裏に集合する。
③ 団体は水産高校の先生と簡単な打ち合わせを行う。乗船にあたっての注意事項の説明を聞く。
④ ライフジャケットをつけ、引率の先生とともに乗船・出港。
⑤ 帰港し、上陸後に人員確認。ライフジャケットを返し、水産高校の先生にあいさつをする。

【加茂磯採集】

① 水産高校の先生の指示に従い、観察場所に集合。
② 自然の家から魚を採る網を借用し、安全に気をつけながら採集・観察。
③ 借用したものは水洗いして返却する。
④ 採集した生き物は、できる限りリリースする。

【加茂水産高等学校見学】

① 引率者は事務室に出向き、あいさつをする。
② 担当の先生の指示に従い、簡単に「出会いのつどい（あいさつ・諸注意）」をする。
③ 説明を聞きながら見学。最後に「別れのつどい（お礼・感想発表）」をする。

自然交流アクティビティ　栽培漁業センター見学（三瀬）

海の生物を育成し、保護した後、自然に戻して漁業の促進を図る「つくる漁業」とも呼ばれる栽培漁業。
稚魚や稚貝を育て、海に放流する事業の一部を見学することができます。

１　ねらいとして考えられるもの

栽培漁業の様子を見学し、漁業や海の生き物への興味や関心を高める。

２　活動場所

山形県栽培漁業センター（鶴岡市三瀬）

３　所要時間と人数・準備するもの

・平日午後のみ実施可能
・時間　：　１時間程度
・人数　：　３０名程度まで（全面依頼の見学活動です）

４　活動の進め方

①事務室に出向き、受付を済ませる。
②簡単な「出会いのつどい」（あいさつ・諸注意）を行う。
③係の方の説明を聞きながら見学する。
④見学終了後、簡単に「別れのつどい」（感想発表・お礼・あいさつ）をする。

５　留意事項

・利用団体が、直接、見学の申し込みを行う。電話（０２３５）７３－３７６３
・５月～７月の魚の繁殖時期は、大変忙しい時期になるため、見学できない場合があります。
　見学を希望する際には、早めに栽培漁業センターに問い合わせをお願いします。
　見学決定の際は、自然の家にもご連絡をお願いします。

山形県栽培漁業センター全景

公益財団法人　山形県水産振興協会　ホームページより

由良コミセン申請書の記載例
3枚で1部（利用日の28日前までに郵送、または、持参で自然の家に提出）

記入例

様式第２号　　コミュニティセンター使用許可申請書

申請者	団体等名称	**〇〇小学校**
	所在地（住所）	**鶴岡市〇〇町〇〇－〇〇**
	代表者	**〇〇小学校　校長　　又は　団体代表者**
	使用責任者	**担当者名** 電話　　（　　）**連絡先**

令和〇〇年〇〇月〇〇日

鶴岡市長　様

利用が複数日の場合は、１日ごとに申請書が必要です！

次のとおり使用したいので許可を申請します。

使用年月日	令和　〇年〇〇月〇〇日（　）	使用施設名	鶴岡市　**由良**コミュニティ　センター
使用目的（〇を付ける）	会議　研修　練習　レクリエーション　業務　[その他]（**金峰少年自然の家活動**）		
行事の名称	**自然教室（いかだづくり・磯あそび・潮風野外炊飯など）**		
使用人員	大人　5人　子供　20人　計　25人	入場料等	[無]　・　有（一人　　円）

使用室名	使用時間	飲酒の有無	冷暖房使用・時間
①　**水シャワー**	12:00～13:00	有　[無]	有　[無]
②　**第1･2会議室**	9:00～14:00	有　無	有　無
③　**水場**（潮風野外炊飯時）	9:00～14:00	有　無	有　無
④　**ホール**	9:00～14:00	有　無	[有]　無　１２：３０～１３：３０

冷房使用希望の場合、「有」を囲み、使用時間を記載

「水シャワー」は、いかだづくり・磯あそびの際には必須。
「水場」は、潮風野外炊飯の際には必須。

以下はコミュニティ推進課で記入

時間も含みます。

			用料	冷暖房料（円）
			円	円×　時間=
②	円	5・10割	円	円×　時間=
③	円	5・10割	円	円×　時間=
④	円	5・10割	円	円×　時間=

使用区分
- □(2)ｺﾐｭﾆﾃｨ活動推進団体
- □(3)行政機関等
- レ(4)②学校関係　□③
- □(5)福祉団体等②(1～2)
- □(5)サークル・各種団体②(3～6)
- □(6)政治・宗教・組合等団体
- □(6)営利
- □(7)その他の団体

小　計		円	円	燃料費(C)	円
免除額	全部・[一部]　５割	円	円	決定額合計（A+B+C）	円
決定額		(A)　円	(B)　円		

備考		確認印

受付年月日	許可年月日	許可書発行年月日	不許可・取り消し等	コミュニティ推進課受付印
〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇年〇〇月〇〇日		

提出先：山形県金峰少年自然の家

ＦＡＸ可

いかだレスキュー艇依頼申請書

提出日：　令和〇年〇月〇日

レスキュー艇船長 殿

記入例

利用団体名：　カッパル小学校
利用団体代表者：　校長　　金峰　一郎
引率代表者：　教諭　　金峰　花子
住所：　飽海郡遊佐町菅里字菅野２９９
電話番号：　０２３４－２４－２４００

下記の通り山形県金峰少年自然の家の研修活動として、いかだづくりならびに体験航海を実施いたしますので、レスキュー艇の配置をよろしくお願いします。

記

1　利用団体名　　カッパル小学校

2　学年　　児童・生徒数　　引率者数

（　5　）年　　（　40　）人　　（　5　）人

3　実施期日　　開始時間　　終了時間

令和6年6月15日（土）　　9時30分　～　14時00分

4　出航艇数

作るいかだの数　　（　４　）艇
海に出るいかだの出航艇数　　（　６　）艇

例①：３艇つくり、１艇あたり１回ずつ使って航海をする場合。
つくるいかだの数　（　３　）艇
海に出るいかだの出航艇数　（　３　）艇
例②：４艇つくり、１艇あたり２回ずつ使い、実際には８艇分航海をする場合。
つくるいかだの数　（　４　）艇
海に出るいかだの出航艇数　（　８　）艇

5　大人と一緒でなければいかだに乗れない児童・生徒がいますか？
いる場合は、「いる」に☑して人数を記載してください。

☐ いない　　☑ いる　（　2　）人

※いかだレスキュー艇料金（令和６年度より改定）
〇基本料金：２，０００円　＋　出航艇数１艇あたり：４，０００円
例：出航艇数が８艇の場合
⇒２，０００円　＋　４，０００円　×　８艇　＝　３４，０００円

※ 経費の支払いは、郵便振り込みです。振込票を領収書に代えさせていただきます。
※ 現地で請求書をお渡しいたします。

提出先：山形県金峰少年自然の家　　提出期限：利用日の10日前まで　　ＦＡＸ可

いかだ活動計画表

記入例

団　体　名	カッパル小学校	活動日	●月　●日（　▲　）
作るいかだの数	4　艇	海に出るいかだの数	6　艇

★「予定時刻」、「担当者名」を記入の上、メールまたはFAXで自然の家へ送付してください。
- 様式は各校（各団体）の活動予定に合わせ、修正してお使いください。
- 同様の内容が記載してあれば、任意の様式でも構いません。

予定時刻	活動（計180分）	内　容	場　所	必要な人数	担当者名	
9:15	集合 説明 （15分）	・道具の種類と数量の説明 ・ライフジャケットの着用	由良小屋前	自然の家職員が行います		
9:30	運び出し （15分）	竹出しの補助	竹置き場	１名	①　金峰　一郎	別々の人を配置してください
		用具類の置き方の補助	砂浜	１名	②　金峰　二郎	
9:45	いかだ 組立て （75分）	いかだ作りの補助 ステップ①　竹を置く（15分）	砂浜	いかだ 1～2艇に １名	①　金峰　一郎	
					②　金峰　二郎	
		ステップ②　竹と竹を結ぶ（30分）			③　金峰　三子	
		ステップ③　竹とブイを結ぶ（30分）			④　金峰　四子	
11:00	航海準備 （10分）	ライフジャケットの ベルト点検	砂浜	いかだ1～2艇に １名	上記のいかだづくり補助の方	
		いかだのこぎ方説明	砂浜	自然の家職員が行います		
11:10	いかだ 出し	いかだを海に出す （引率者は全員水着着用）	砂浜	いかだ1～4艇 前側１名 後側１名	①　金峰　一郎	
					②　金峰　二郎	
				いかだ5艇以上 前側２名 後側２名	③　金峰　三子	
					④　金峰　五郎	
	航海 （35分）	レスキュー艇でけん引する	海上	レスキュー艇船長が行います		
12:00	いかだ 引き上げ	いかだを海から引き上げる （引率者は全員水着着用）	砂浜	いかだ1～4艇 前側１名 後側１名	①　金峰　一郎	
					②　金峰　二郎	
				いかだ5艇以上 前側２名 後側２名	③　金峰　三子	
					④　金峰　五郎	
	後片付け （30分）	いかだ解体の補助	砂浜	２名	①　金峰　一郎	別々の人を配置してください
					②　金峰　二郎	
		水シャワーの支援 ライフジャケット水洗い	コミセン屋外	１名	③　金峰　三子	
		温水シャワーの支援・清掃 【※温水ｼｬﾜｰ利用団体のみ】	海テラス ゆら磯の風	男女各１名	※④　金峰　四子	
					※⑤　金峰　五郎	

提出先：山形県金峰少年自然の家

ＦＡＸ可

「温水シャワー・海テラスゆら磯の風　緊急避難施設」使用申請書

（※温水シャワー使用の団体、および、潮風テント泊の団体は提出）

提出日：　令和●年　●月　●日

由良自治会　様

記入例

利用団体名：　カッパル小学校
利用団体代表者：　校長　　金峰　一郎
引率代表者：　教諭　　金峰　花子
住所：　飽海郡遊佐町菅里字菅野２９９
電話番号：　０２３４－２４－２４００

温水シャワー

利用団体名	カッパル小学校					
使用日時	月日	令和〇年〇月〇日	開始時間	10時00分　～		
	月日	令和〇年〇月〇日	終了時間	12時30分　まで		
使用人数及び学年	第　5　学年		40　名	引率者　5　名		
使用料の額	小学生 200円	40　名	中学生以上 350円	5　名	合計　9750　円	

※利用当日のキャンセルはできません。（いかだ中止の場合を除く、人数変更は可）

海テラスゆら磯の風　緊急避難施設（潮風テント泊団体のみ）

利用団体名	カッパル小学校			
使用日時	月日	令和〇年〇月〇日	開始時間	10時00分　～
	月日	令和〇年〇月〇日	終了時間	12時30分　まで
使用人数及び学年	第　5　学年	40　名	引率者　5　名	
カギ管理責任者 職・氏名	教諭　　海浜　峰子			
連絡可能な携帯電話番号	090－〇〇〇〇－〇〇〇〇			

提出先:山形県金峰少年自然の家　　ＦＡＸ可

加茂カッター乗船・漁業実習船乗船・加茂磯採集・加茂水産高等学校見学　申請書

提出日:　令和〇年〇月〇日

山形県立加茂水産高等学校長　殿

記入例

利用団体名：　カッパル小学校
利用団体代表者：　校長　　金峰　一郎
引率代表者：　教諭　　金峰　花子
住所：　飽海郡遊佐町菅里字菅野２９９
電話番号：　０２３４－２４－２４００

海洋体験学習での使用、および加茂水産高等学校の見学利用について、下記の通り申請いたします。
なお、実際のご指導もよろしくお願いします。

1　実施する体験に☑して、利用日時を記入してください。

☑ 加茂カッター乗船
月日　令和6年6月14日(金)　開始時間　10時00分　～
終了時間　12時00分　まで

☐ 漁業実習船乗船
月日　　開始時間　　～
終了時間　　まで

☐ 加茂磯採集
月日　　開始時間　　～
終了時間　　まで

☐ 加茂水産高等学校見学
月日　　開始時間　　～
終了時間　　まで

2　利用人数及び学年

15　名　（第　5　学年）　引率者　5　名

3　その他

（例）体験に入る前に１５分～２０分程度、水産業や加茂水産高校の役割などについて簡単なご講話を希望します。

様式１

本計画書は、市廃棄物対策課と金峰少年自然の家の両方にＦＡＸで送ってください。

鶴岡市クリーン作戦　実施計画書

実施日の５日前まで、鶴岡市廃棄物対策課（実施する場所が鶴岡地域）又は地域庁舎市民福祉課（実施する場所の地域庁舎）にご提出ください。**（FAX 可）**

団　体　名	鶴岡市立金峰小学校	担当者氏名	海晴　空人
		電 話 番 号	0235-24-2400
団体所在地	鶴岡市高坂字杉ヶ沢５４－１　**記入例**		
実 施 日 時	●年　●月　●日（　●　）　●　時　～　●　時まで ***※中止した場合は必ず廃棄物対策課又は市民福祉課にご連絡ください。*** ***クリーン作戦実施期間は、概ね４月から10月までです。***		
実 施 場 所	鶴岡市由良海岸	参加予定者数	５３　人
ごみの集積場所	海テラスゆら磯の風の裏 ***※収集車両が近づけるところに風で飛ばされないように集積してください。***		
ごみ袋の必要枚数 ※必ず市が提供　するごみ袋を使用 してください。	白　袋（もやすごみ）　１２　枚 紙・ビニール・プラスチック・ゴム･ペットボトル用 （ごみ袋に入る大きさのもののみ） ***※草、落ち葉、ごみ袋に入らない大きさの流木は収集できません。***		
	青　袋（もやすごみ以外）　１２　枚 空缶・空びん・金属・ガラス・せともの用 （ごみ袋に入る大きさのもののみ） ***※粗大ごみは集めないで、そのものがある場所をご連絡ください。***		
ごみ袋の配布方法	□ 廃棄物対策課に取りに行く　□ 市民福祉課に取りに行く ☑（　由良コミセン　）に届けて欲しい※鶴岡地域のみ		

〔ご注意ください〕

- **クリーン作戦実施後５日以内に実績報告書を提出してください。**
- ごみ袋が余った場合は、飛ばされないように集積場所に置いておくか、廃棄物対策課又は市民福祉課へご返却ください。

鶴岡市市民部廃棄物対策課	鶴岡市宝田３丁目 13-6	TEL 22-2848	FAX 22-2879
鶴岡市藤島庁舎市民福祉課	鶴岡市藤島字笹花 25	TEL 64-2111	FAX 64-5940
鶴岡市羽黒庁舎市民福祉課	鶴岡市羽黒町荒川字前田元 89	TEL 62-2111	FAX 62-4873
鶴岡市櫛引庁舎市民福祉課	鶴岡市上山添字文栄 100	TEL 57-2116	FAX 57-2119
鶴岡市朝日庁舎市民福祉課	鶴岡市下名川字落合１	TEL 53-2111	FAX 53-2119
鶴岡市温海庁舎市民福祉課	鶴岡市温海戊 577-1	TEL 43-4613	FAX 43-4631

様式２

本報告書は、市廃棄物対策課と金峰少年自然の家の両方にＦＡＸで送ってください。

鶴岡市クリーン作戦　実績報告書

実施後５日以内に鶴岡市廃棄物対策課（実施した場所が鶴岡地域）又は地域庁舎市民福祉課（実施した場所の地域庁舎）にご提出ください。（FAX 可）

団　体　名	鶴岡市立金峰小学校	担当者氏名	海晴　空人
		電 話 番 号	0235-24-2400
実 施 日 時	●年　●月　●日（　●　）　●　時　～　●　時まで		
実 施 場 所	鶴岡市由良海岸　記入例	参加予定者数	５　３　人
収集に要した袋の数	白 袋（紙・ビニール・プラスチック等のもやすごみ）　１０　枚 青 袋（もやすごみ以外）　１０　枚		
余った袋の数 ※必ず返却してください。	白 袋　２　枚 青 袋　２　枚 ***※飛ばされないように集積場所に置いておくか、廃棄物対策課又は市民福祉課へご返却ください。***		

鶴岡市市民部廃棄物対策課	鶴岡市宝田３丁目 13-6	TEL 22-2848	FAX 22-2879
鶴岡市藤島庁舎市民福祉課	鶴岡市藤島字笹花 25	TEL 64-2111	FAX 64-5940
鶴岡市羽黒庁舎市民福祉課	鶴岡市羽黒町荒川字前田元 89	TEL 62-2111	FAX 62-4873
鶴岡市櫛引庁舎市民福祉課	鶴岡市上山添字文栄 100	TEL 57-2116	FAX 57-2119
鶴岡市朝日庁舎市民福祉課	鶴岡市下名川字落合１	TEL 53-2111	FAX 53-2119
鶴岡市温海庁舎市民福祉課	鶴岡市温海戊 577-1	TEL 43-4613	FAX 43-4631

----------　以下は記入しないで下さい----------

クリーン作戦実績

収集日	年　月　日（　）　午前・午後				転記者印
収集者					
収集量	可燃	ｋｇ	不燃	ｋｇ	

MEMO